EA993CG－25(エアーハイドロリックジャッキ)取扱説明書

(アメリカ)

このたびは当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きますようお願いいたします。

○ エアージャッキ
○ 能力 25t
○ 最小揚程 203mm(ﾈｼﾞ使用せず)
　最大揚程 406mm(ﾈｼﾞ使用せず)
○ 最小揚程 298mm(ﾈｼﾞ使用)
　最大揚程 457mm(ﾈｼﾞ使用)
○ ストローク 約130mm(負荷により変わる)
○ ﾈｼﾞ長 約120mm(負荷により使用範囲変わる)
○ スチール製
○ ゴム製タイヤ
　φ200×幅60mm
○ 重量 53kg
○ エアー圧力 0.69～1.38MPa
○ ハンドルは傾斜変更可能(3段)

○ 安全のために
・当製品を使用する前に作業者はメーカーのマニュアルに従い、ジャッキを乗物に当てる場所などを確認してください。
・作業者は必ず保護メガネを着用してください。
・使用する前にジャッキを点検し、損傷がある時は使用しないでください。
・ジャッキは対象物を上げる事のみに使用してください。
・使用範囲を超えない様にしてください。
・ジャッキは硬い水平な床面で使用してください。
・サドルの中心に荷重がかかるようにしてください。中心を外れた荷重はジャッキ破損の原因になります。
・ジャッキで負荷物を揚げたままにしないでください。
・乗物を支える時はスタンド(ウマ)を使用して支えてください。
・製品を加工したり、他社のアダプターを使用しないでください。
・ジャッキサドルの位置を確認しながら注意してゆっくり降下させてください。
・適正なオイルのみ使用してください。ｱﾙｺｰﾙやﾌﾞﾚｰｷ用ﾌﾙｰﾄﾞ、ﾄﾗﾝｽﾐｯｼｮﾝｵｲﾙなどを使用するとジャッキの破損の原因になります。

○ 使用方法
1. ジャッキのエアー吸入口に約14gほどきれいなｵｲﾙを注油します。
　ｵｲﾙを注入しないとポンプの機能不全になります。
2. エアーラインを接続してください。(ジャッキの能力をみたすきれいで乾燥したエアー)
3. 乗物のパーキングﾌﾞﾚｰｷをかけ、車輪に車止めをかけてください。
4. ジャッキを乗物の下に差し入れます。
5. 解除ﾊﾞﾙﾌﾞのノブを時計方向にを締めます。
6. バルブレバーを押してジャッキのサドルが乗物に接触する所まで上げます。
　サドルを確認してから乗物を持上げます。
7. 安定した支持をするために乗物のﾎﾟｲﾝﾄにスタンド(ウマ)を配置します。
　修理に入る前に乗物をスタンドの上にゆっくり降ろしてください。解除バルブのノブを反時計方向にゆっくりまわします。

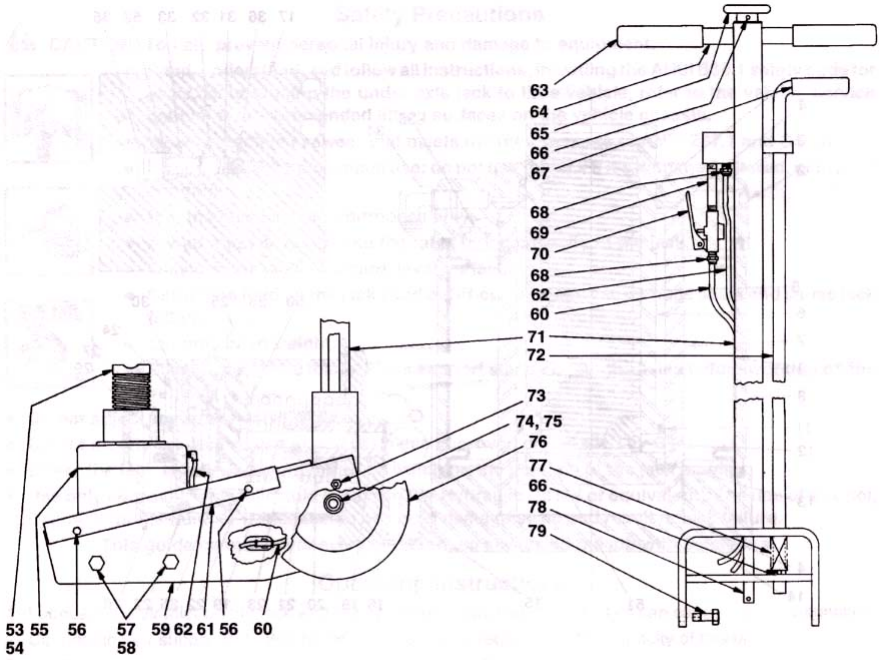
○ ジャッキのエアーブリーディング(空気の追い出し)
1. 解除バルブのノブを反時計方向に回して開きます。
2. ジャッキにエアーラインを接続します。
3. エアーのバルブレバーを押しながら20回ほど繰り返します。
4. 解除バルブのノブを時計方向に締めます。
5. ジャッキのラムが充分に出る所までエアーバルブを押します。
6. 解除バルブのノブを反時計方向に緩めてジャッキを下げます。ジャッキの反応が良くない時は上記作業を繰り返してください。

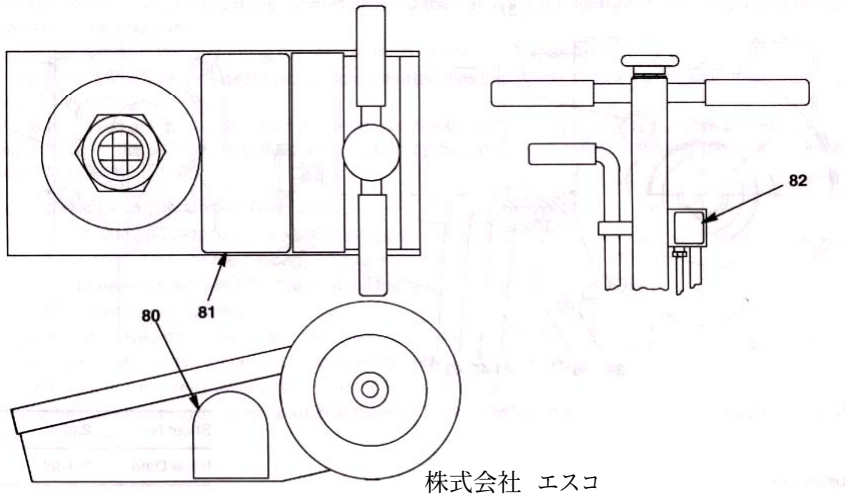
○ メンテナンス

重要:損傷の一番の原因は油圧機関部分の汚れです。常にシリンダーは
清潔に保ち注油して、外からの異物の混入を防止してください。
ジャッキが雨や雪に曝された時は、使用する前に清掃してください。

1. ジャッキを保管する時は、腐食蒸気やダストなどの有害物に曝されない所に保管してください。
2. 定期的に可動部分に注油してください。
3. 一年に一度はリザーバーのオイルを点検してください。オイルレベルを点検する時はエアーラインを離し、ジャッキを水平な場所に置き、ラムを充分下げておきます。
オイルフィルターホールのプラスチックカバーとプラグを外します。
オイルのレベルはフィルターホールから1/4”以内の所までです。
適正なオイルを充填し、プラグなどを戻してください。
4. 使用前にジャッキに以下のような箇所がないかを点検してください。ある時は使用を中止してください。

a. ハウジングのひびや損傷
b.顕著な摩耗、歪み、他の損傷
c. オイルの漏れ
d. ピストンロッドの傷や損傷
e. 機関部のゆるみ
f. 機器の加工、改造





株式会社 エスコ
本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀3－8－14
TEL (06) 6532-6226 FAX (06) 6541-0929